

## 追悼の辞



吉村光威初代会長近影

吉村光威初代会長は平成16年12月8日にお亡くなりになりました。66歳でした。ここに謹んで吉村先生のご冥福をお祈り申し上げます。

吉村先生は昭和37年3月に大阪府立大学経済学部をご卒業後、同4月に日本経済新聞社に入社され、編集局経済部、証券部、データバンク局部長、局次長を経て、平成3年に日本公社債研究所（現 格付投資情報センター）へ移られ取締役、監査役を経た後、平成10年6月、山口大学経済学部にて教授として着任されました。また、平成12年4月に日本大学商学部へ教授として着任されました。大学卒業後36年間を実務家として、その後の6年強を学者として過ごされたわけです。

吉村先生は日経記者時代から日本のディスクロージャーの問題点を指摘し、その改善をうたえてこられました。その後、1980年代に入りデータバンク局時代になると経済分析や企業分析に携わる関係で、日本経営財務研究学会、日本経営分析学会、日本会計研究学会などの学会活動に積極的に参加されました。平成元年に松山大学で開催された日本会計研究学会第48回大会において学者の報告の甘さを厳しく指摘されていたのが印象的でした。その段階で、自分でやらねばならないという思いからすでに学者への転進の展望が開けていたのではないかと思います。当時の思いは『ディスクロージャーを考える』（平成3年、日本経済新聞社）、『ディスクロージャーが市場と経営を革新する』（平成6年、中央経済社）で語られております。優れた歴史感覚で日本のディスクロージャーの本質を明らかにした『ディスクロージャーを考える』はディスクロージャーの新たな古典と呼ぶにふさわしい名著といえます。

松山以来、吉村先生は何かと構想をお漏らしになり、それなら「やりましょう」と皆が意気投合するなかで、吉村先生はとうとう平成8年にインターネットというバーチャルな世界でディスクロージャー学会を立ち上げられました。ホームページはBLUE SKY PAGESと名づけられ「青空に物事を晒すと

虫干しされ綺麗になる」とのコピーが印象的でした。インターネットの時代ですから、アクセス数が気になるころです。ホームページ開設後2年程でアクセス数が1万件を突破しました。多くの親友がバーチャルからリアルな学会への衣替えを主張し、我々も自ら先頭に立つことを躊躇された吉村先生に決断を促し、平成11年5月のディスクロージャー研究学会の設立（山口大学）にこぎつけました。その後の吉村初代会長のご活躍は皆さんご存知のとおりであります。このリアルな世界への変身を記念して、同年6月に本学会の編で『現代ディスクロージャー論』（中央経済社）を発刊しております。当時、ディスクロージャーに関するまとまったテキストがなかっただけに貴重な出版となりました。

リアルな学会を立ち上げた以上は、広く社会に認められるようにしなければならないということから、3年後に選挙を行うこと、査読付の学会誌を発刊し学会の地位を高めること、そしてディスクロージャー研究のメッカになることなどを設立時の役員で確認しあって、吉村先生がぐいぐいその方向へ引っ張っていかれたものです。日経時代からの多数の友人が学会設立にご協力くださったのも吉村先生の日頃のお付き合ひの広さを物語っております。この学会草創期の3年強を会長として勤められた吉村先生のご功績は偉大であり、追悼に際して記して感謝の念をお示します。

がむしゃらに走ってこられた吉村先生も日本大学へ移籍された後に、病気がちになられ、学会活動もままならない時期もあり、悔しい思いもされたようです。平成14年に公約どおり選挙が実施され、國村が会長となり学会の基礎固めの時代に入っております。学会設立に吉村先生をご支援いただきました先生方が高齢等で退会される一方で若い先生方が次々入会されアクティブな会員で構成される力強い状況になってきましたし、厳しい査読方針を守ってきたことから学会誌の信用度も高まってきました。どうか吉村先生にはご安心いただきたいと思います。

本学会が新体制で発展する中、平成15年12月の大阪経済大学大会に奥様の介添えを得て吉村先生が車椅子でお越しになられたときには、会員一同どれほど勇気付けられたことでしょうか。そこで、平成16年10月の法政大学大会では神谷準備委員長が吉村先生になにか一言でもお話いただければと企画され、吉村先生も喜んでおられ病床の中でも話す内容を原稿にしたいとっておられたのですが、それが実現しないままに逝ってしまわれたことは残念でなりません。

平成の幕開けから従来の学会にはできない方法でディスクロージャーの重要性をうったえ、かつ研究の場を生み出された吉村先生のご業績をたたえ、ここに追悼の辞を閉じます。ありがとうございました。

平成17年4月1日

会 長 國村 道雄  
事務局長 柴 健次